

耳鼻咽喉科学

[M4-70077P1]

1 臨床実習の概要

耳鼻咽喉科学実習では、耳鼻咽喉科領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、耳鼻咽喉科領域の主要な病態、診断、治療を理解し、患者とチームメンバーを尊重した耳鼻咽喉科領域の疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく、関連ユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術（診療の実践）
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係を作ることができる（①④）
- 耳鼻咽喉科領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 耳鼻咽喉科領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例を提示することができる（③⑥）
- 耳鼻咽喉科の疾患の患者を通して
 - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 臨床的問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる。（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
 - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）

- 耳鼻咽喉科の医療にかかわる
 - ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる (④)
 - ・ 社会制度 (厚生医療など) を説明できる (④⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

難聴、めまい、耳痛、鼻漏、鼻閉、鼻出血、頭痛・顔面痛、咽喉頭痛、開口障害、嚥下障害、発声障害 (嗄声、構音障害)、呼吸困難、頸部腫脹・腫瘍

疾患

中耳炎 (滲出性、急性、慢性、真珠腫性)、感音難聴 (突発性難聴など)、めまい症 (末梢性、中枢性)、顔面神経麻痺、副鼻腔炎 (急性、慢性、真菌性)、アレルギー性鼻炎、鼻出血、嗅覚障害、味覚障害、咽喉頭の炎症性疾患 (急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、扁桃病巣感染症、急性喉頭蓋炎など)、睡眠時無呼吸症候群、声帯ポリープ、反回神経麻痺、嚥下障害、耳鼻咽喉科領域の異物

検査

聴覚検査 (純音聴力検査、語音聴力検査、チンパノメトリー、聴性脳幹反応など)、平衡機能検査、嗅覚検査、味覚検査、音声機能検査、嚥下機能検査、超音波検査、画像診断、内視鏡検査

治療

外科的療法 (鼓膜チューブ留置術、鼓膜形成術、鼓室形成術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、扁桃周囲膿瘍切開術、喉頭微細手術、気管切開術など)、耳鼻咽喉科外来処置、薬物療法 (抗菌薬、ステロイド薬、生物学的製剤など)、リハビリテーション (言語障害、聴覚障害、嚥下障害など)、補聴器

4 方 略

外来臨床実習ならびに手術見学

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に耳鼻咽喉科領域の臨床実習予習ノート进行らせておくこと

【自己学習 (事前事後学修) に必要な時間】

実習 1 日あたり 予習 : 30 分 復習 : 30 分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

耳鼻咽喉科検査や担当症例の手術内容については、実習中に適宜フィードバックを行う。鼻内視鏡下でのパプリカ実習や顕微鏡下での鼓膜チューブ実習においては、実地で手技を指導し修正点を指摘する。

7 評価

- ・ 臨床実習出席状況
- ・ 実習参加中の学修態度、習熟度
- ・ 実習レポート
- ・ その他

上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。

8 実習スケジュール

別項参照

9 教育担当者

実習責任者：志賀 英明（耳鼻咽喉科学）

担当教員： 志賀 英明、酒井 あや、木下 裕子、中村 有加里、石倉 友子、
佐伯 静華、湊 梨穂、阿河 光治

10 参考図書・文献

購入すべき図書

標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 第4版 医学書院

New Simple Step 耳鼻咽喉科 総合医学社

あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 中山書店

病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 医療情報科学研究所

購入するとよい図書

新耳鼻咽喉科学 第12版 南山堂

参考図書

ネッター解剖学アトラス原書 第7版 南江堂

※実習には必ず教科書を持参すること

耳鼻咽喉科学

臨床実習スケジュール表

	8:45	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	13:45	14:00	15:00	16:00	17:00	
月	カンファ@医局 [志賀、酒井、湊]	手術見学 [志賀、酒井、木下、佐伯]				昼休み	実習レポート作成@自習室 [各自]	耳外来見学 [佐伯]	実習レポート作成@自習室[各自]	3D実習@CSC講師控室 [三輪]		
火	※(月)祝の際 下記参照	自習 集合出席 下記参照	鼻外来見学(H1診察室) [志賀]				実習レポート作成@自習室 [各自]	嚥下外来見学 @医局集合[阿河]	耳鼻科検査@外来 [木下、技師]	診察法@CSC [湊]		
水			手術見学 [志賀、酒井、中村、石倉、佐伯]				手術見学 [酒井、中村、石倉、佐伯]			鼻内視鏡 実習@外来 [佐伯]		
木		鼓膜チューブ実習@医局集合 (実験室)[湊]	実習レポート作成 [各自@自習室]				クリニカル・スキルアッププログラム					
金		クリニカル・スキルアッププログラム					手術見学 [中村、佐伯]					

(実習週により変更もあるため、詳細は初日に配布する最新版を確認して下さい。また、診療状況により急に変更・中止となる場合があります。)

＜集合・出席確認場所＞ ※実習内容変更の伝達も行います。自習日も集合して下さい。

- ・月曜：午前8：45（臨床研究棟4F・耳鼻科医局403号室）
- ・火～木曜：午前9：00（秘書室405号室）※出席確認後、各実習場所または自習室へ移動
※(月)が祝日の週は、(火)8：45（臨床研究棟4F・耳鼻科医局403号室）CCSカンファレンス
- ・金曜：午後13：00（秘書室）

- ・月曜CCSカンファレンス時に、連絡先確認表に名前と電話番号を記入すること。
- ・予習ノートは指定のフォームにて提出すること。
- ・実習には必ず教科書を持参すること。
- ・鼻内視鏡実習では硬性鼻内視鏡下にパプリカの種を取る。
- ・鼻外来と鼻内手術の見学には、カンファレンス時配布の「鼻内手術予習教材」を持参すること。

＜レポート提出＞

カンファレンスで配布のレポートに学習内容等を記載。

提出期日：実習期間の金曜16：00（先生または秘書室まで）

＜担当手術症例＞ グループ内でいずれかを担当

※月、水、金曜の手術見学は担当症例以外も必ず参加すること
(手術担当Dr. に手術開始時間を確認すること)。

＜自習について＞

必ず大学内にて行うこと。(診療状況等により、当日に実習内容の変更もあるため)

＜遅刻、欠席の場合＞ 下記の両方に必ず連絡してください。

- ①集合時間前までに 教学課欠席報告フォームに入力
- ②8:45-9:00の間に 秘書室に電話連絡 Tel:076-218-8147(耳鼻科直通)